



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年8月7日

上場会社名 株式会社うかい 上場取引所 東
 コード番号 7621 URL <https://www.ukai.co.jp/>
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）紺野 俊也
 問合せ先責任者（役職名）専務取締役（氏名）松崎 城康（TEL）042(666)3333
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第1四半期の業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	3,365	2.7	203	8.4	200	10.4	△23	—
2025年3月期第1四半期	3,275	△1.0	187	△37.7	181	△38.6	107	△53.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	△4.20	—
2025年3月期第1四半期	19.22	19.22

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	10,851	4,656	42.9
2025年3月期	10,901	4,769	43.7

（参考）自己資本 2026年3月期第1四半期 4,655百万円 2025年3月期 4,767百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2026年3月期	—				
2026年3月期(予想)		0.00	—	15.00	15.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,696	1.7	828	14.7	805	15.1	308	124.9	54.90

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	5,611,540株	2025年3月期	5,611,540株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	1,443株	2025年3月期	1,443株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	5,610,097株	2025年3月期1Q	5,605,097株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(2025年4月1日～2025年6月30日)におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善が継続するなかで、緩やかな回復基調を維持しております。一方で、米国の貿易政策や利下げの動向、依然として続く物価上昇による個人消費への影響、ウクライナ・中東地域をめぐる地政学的リスク、ならびに金融市場の変動による資金調達環境の不安定化など、先行きに対する不透明感は払拭されておらず、引き続き慎重な経営判断が不可欠な状況が続いております。

当社が属する外食産業においては、社会経済活動の正常化が定着するなかでインバウンド需要の拡大が継続し、人流の回復が進んでおります。一方で、慢性的な人手不足による人件費の高騰や原材料価格の上昇が収益構造を圧迫する状況が続いており、価格改定による客単価の上昇は進んでいるものの、価格に敏感な顧客層の離反リスクもあるため、全面的な価格転嫁には慎重な判断が求められます。また、物価高による消費マインドの低下が外食需要の回復に影響を及ぼす可能性もあり、今後も市場動向を慎重に見極めながら、柔軟な対応力が問われる局面が続くものと考えられます。

このような経営環境のなか、当社は2025年5月に「長期経営構想2035」を発表し、10年後のありたい姿として「多様な食の業態に携わり、永続企業・ブランドを築き、すべての人に笑顔や感動、幸せな時間をプロデュースする」ことを掲げております。その実現に向け、2025年度から2030年度までの5年間を「中期経営計画2030」と位置づけ、新業態の開発および物販事業の拡大を成長の柱としながら、既存のレストラン事業を安定的な収益基盤として活かし、ブランド価値の維持・向上を図っております。

当第1四半期には、これらの戦略に沿って既存事業の収益性向上と人材育成への投資を進めるとともに、新たな事業基盤の整備を着実に推進しております。具体的には、2025年4月に中期経営計画の中核を担う子会社「株式会社UKAIzm corporation」を設立し、既存ブランドとは異なるターゲット層を想定した新業態の開発や、食文化を軸としたブランドプロデュース事業の準備を開始しております。また、人材育成においては、社内教育制度「UKAI Academy」を2025年5月に開講し、鉄板焼の技術・接客・マインドを体系的に学ぶ鉄板コースを皮切りにプロフェッショナル人材の早期育成に注力しております。さらに、同月19日に契約期間満了に伴い『東京 芝 とうふ屋うかい』の2026年3月末での閉店を発表し、事業ポートフォリオの見直しと収益構造の再構築にも着手しております。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は、3,365百万円(前年同四半期比2.7%増)の増収となりました。利益面では、譲渡資産の賃借に伴う賃借料の増加や前期末に資産除去債務を追加計上したことに伴う減価償却費の増加などのコスト要因があったものの、増収効果および原価率の改善により売上総利益が増加したことで、営業利益は203百万円(前年同四半期比8.4%増)、経常利益は200百万円(前年同四半期比10.4%増)の増益となりました。一方で、四半期純損益については、契約期間満了に伴う閉店を決定・開示した『東京 芝 とうふ屋うかい』に関して、店舗閉鎖損失引当金239百万円を特別損失として計上したことなどにより、23百万円の四半期純損失(前年同四半期は107百万円の四半期純利益)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

〔レストラン事業部〕

社会経済活動の正常化が定着し、外食およびインバウンド需要が堅調に推移するなか、レストラン事業部では、「唯一無二のレストランであり続ける」という方針のもと、料理・サービスの質向上を目的とした施策を継続的に実施しております。各店舗では、ブランドの特色を活かした販促活動を展開し、来店機会の創出に努めるとともに、スタッフが一組一組のお客様に集中して対応する体制を整え、洗練された料理ときめ細やかなサービスの提供を目指しております。

お客様の満足度向上を図る取り組みの一環として、一部店舗ではコースや価格の見直しを行い、客単価の上昇につながりました。さらに、2024年10月に実施した『あざみ野うかい亭』のリニューアル効果が継続しており、客単価および集客力の向上に寄与しました。一方で、2024年11月末に閉店した『うかい竹亭』の影響により一部で減収要因が生じましたが、全体では増収となりました。

以上の結果、レストラン事業部の売上高は、2,684百万円(前年同期比0.9%増)と微増収となりました。

〔物販事業部〕

物販事業部の主力部門である製菓では、2024年9月にオープンした『アトリエうかい グランスタ東京』が好調に推移し、売上への寄与が大きくなっております。加えて、催事出店の強化による外販売上の伸長も見られ、製菓部門全体としては増収で着地いたしました。一方で、2024年8月末に閉店した『アトリエうかい たまプラーザ』の影響により一部で減収要因が生じましたが、全体としては新規出店や外販強化が寄与し、増収となりました。

また、成長を担う食物販部門では、『うかいのグルメ』として、製菓・とうふ・冷凍商品を組み合わせた形で催事出店を行い、ブランドの認知向上と販路拡大を図っております。加えて、お取り寄せグルメのオンラインショップ「UKAI GOURMET DELI」を中心に安定した売上を維持しており、前年同期比でほぼ横ばいながらも堅調に推移しております。

以上の結果、物販事業部の売上高は、413百万円（前年同期比12.5%増）と増収となりました。

〔文化事業部〕

文化事業部では、『箱根ガラスの森』にて、2025年4月19日から7月13日までの会期にて、2025年初夏所蔵作品展「19世紀のヴェネチアン・グラス ーしなやかな造形ー」を開催いたしました。本作品展を柱に、季節の移ろいに合わせクリスタルガラスの展示替えや様々な企画を展開し、多くのお客様にご来館いただけるよう、細やかなプロモーション活動や旅行会社をはじめとする企業への営業の強化を進めております。これらの営業施策の効果による安定した集客に加え、訪日外客数の伸長を背景に外国人観光客の取り込みも堅調に推移し、来館者数は前年同期比で大きく伸長いたしました。

以上の結果、文化事業部の売上高は、267百万円（前年同期比7.7%増）と増収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における資産、負債及び純資産の状態は以下のとおりであります。

(資産)

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ49百万円減少し、10,851百万円（前事業年度比0.5%減）となりました。主な要因は、資金運用により有価証券が1,000百万円増加し、繰延税金資産が116百万円増加した一方で、現金及び預金が1,059百万円、売掛金が126百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ62百万円増加し、6,194百万円（前事業年度比1.0%増）となりました。主な要因は、店舗閉鎖損失引当金が223百万円増加した一方で、賞与引当金が98百万円、取引金融機関からの借入金の総額が60百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ112百万円減少し、4,656百万円（前事業年度比2.4%減）となりました。主な要因は、配当金の支払いおよび四半期純損失の計上により、利益剰余金が107百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は2025年8月7日付で「会社分割（簡易吸収分割）による事業継承に関するお知らせ」を公表しておりますが、これに伴う当社の業績に与える影響については現在精査中であり、本日時点で2025年5月19日に公表いたしました「2025年3月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」の数字から変更はございません。今後、業績予想の修正を行う必要が生じた場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,413,926	4,354,361
売掛金	722,577	596,540
有価証券	—	1,000,000
商品及び製品	182,708	197,057
仕掛品	28,008	30,503
原材料及び貯蔵品	339,308	350,446
その他	189,944	241,037
貸倒引当金	△15	△12
流動資産合計	6,876,459	6,769,935
固定資産		
有形固定資産		
建物	7,818,420	7,828,301
減価償却累計額	△6,608,173	△6,700,296
建物(純額)	1,210,247	1,128,005
土地	568,897	568,897
建設仮勘定	20,845	30,415
美術骨董品	195,849	195,849
その他	3,361,396	3,374,590
減価償却累計額	△3,051,892	△3,058,656
その他(純額)	309,504	315,933
有形固定資産合計	2,305,344	2,239,101
無形固定資産	39,219	36,263
投資その他の資産		
投資有価証券	136,230	132,433
関係会社株式	—	10,000
繰延税金資産	510,331	626,601
敷金及び保証金	1,016,928	1,020,819
その他	16,721	16,230
投資その他の資産合計	1,680,210	1,806,084
固定資産合計	4,024,774	4,081,448
資産合計	10,901,234	10,851,384

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	286,481	275,651
短期借入金	750,000	750,000
1年内返済予定の長期借入金	241,420	240,320
未払法人税等	122,573	102,706
賞与引当金	130,403	31,808
店舗閉鎖損失引当金	30,012	253,549
資産除去債務	52,815	52,815
その他	1,435,539	1,462,349
流動負債合計	3,049,244	3,169,200
固定負債		
長期借入金	1,493,255	1,434,000
退職給付引当金	1,204,818	1,206,168
資産除去債務	384,900	385,611
固定負債合計	3,082,974	3,025,779
負債合計	6,132,218	6,194,979
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	2,891,811	2,891,811
利益剰余金	1,745,891	1,638,152
自己株式	△3,409	△3,409
株主資本合計	4,734,293	4,626,554
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	33,487	28,616
評価・換算差額等合計	33,487	28,616
新株予約権	1,234	1,234
純資産合計	4,769,015	4,656,404
負債純資産合計	10,901,234	10,851,384

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2025年4月1日 至2025年6月30日)
売上高	3,275,972	3,365,782
売上原価	1,448,589	1,391,038
売上総利益	1,827,383	1,974,743
販売費及び一般管理費		
販売促進費	41,714	41,232
役員報酬	40,950	41,535
株式報酬費用	—	5,440
給料及び手当	581,650	593,530
賞与引当金繰入額	16,905	19,949
退職給付費用	17,558	20,004
福利厚生費	96,583	98,650
水道光熱費	55,124	46,321
消耗品費	66,734	64,293
修繕費	46,002	46,436
衛生費	59,923	59,700
租税公課	20,165	16,635
賃借料	207,890	265,270
減価償却費	69,576	108,334
その他	318,918	344,033
販売費及び一般管理費合計	1,639,698	1,771,368
営業利益	187,684	203,375
営業外収益		
受取利息	1,254	2,233
受取配当金	869	2,706
その他	4,362	5,183
営業外収益合計	6,487	10,123
営業外費用		
支払利息	9,802	9,613
その他	2,830	3,497
営業外費用合計	12,633	13,110
経常利益	181,538	200,387
特別損失		
固定資産除却損	18	1,068
店舗閉鎖損失	—	64
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	239,189
特別損失合計	18	240,322
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	181,520	△39,934
法人税、住民税及び事業税	4,457	99,502
法人税等調整額	69,309	△115,849
法人税等合計	73,766	△16,346
四半期純利益又は四半期純損失(△)	107,754	△23,587

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期 損益計算書 計上額 (注)2
	レストラン 事業部	物販事業部	文化事業部	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,659,603	367,785	248,583	3,275,972	—	3,275,972
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,659,603	367,785	248,583	3,275,972	—	3,275,972
セグメント利益	412,888	12,254	28,333	453,476	△265,791	187,684

(注)1. セグメント利益の調整額 △265,791千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期 損益計算書 計上額 (注)2
	レストラン 事業部	物販事業部	文化事業部	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,684,303	413,735	267,744	3,365,782	—	3,365,782
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,684,303	413,735	267,744	3,365,782	—	3,365,782
セグメント利益	442,370	30,596	9,159	482,126	△278,750	203,375

(注)1. セグメント利益の調整額△278,750千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	97,180千円	125,656千円

(重要な後発事象)

会社分割（簡易吸収分割）による事業の承継

当社は、2025年8月7日開催の取締役会において、2025年10月1日を効力発生日として、当社の「箱根ガラスの森美術館」（以下、「本施設」）が運営する文化事業（以下、「対象事業」）を株式会社箱根ガラスの森リゾート（以下、「箱根ガラスの森リゾート」）へ会社分割（簡易吸収分割）（以下、「本吸収分割」）の方法により承継することについて決議いたしましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

なお、本吸収分割は、分割会社（当社）においては、会社法第784条第2項に規定する簡易吸収分割の要件に該当するため、株主総会の承認を得ることなく行う予定です。また、当社は、本吸収分割後においても、本施設の更なる発展のために必要となる支援を行っていくことを箱根ガラスの森リゾート及びその親会社であるダイコク電機株式会社（以下「ダイコク電機」）と協議し、引き続き検討する予定です。

1. 本吸収分割の目的

本施設は、日本初のヴェネチアングラス専門美術館として1996年8月に開設され、現代美術館、四季折々の花々が彩る庭園、カンツォーネの生演奏が楽しめるカフェ等、五感で味わえる他には類を見ない唯一無二の施設として、これまで多くのお客様に愛されてきました。

しかしながら、当社が展開する他の事業（レストラン事業、物販事業）とのシナジーを十分に発揮することや本施設の収益力向上を背景とした当社の企業価値向上への寄与の実現が難しく、また、老朽化に伴う更新投資の増加の可能性等から、中長期計画上、今後の対象事業への対応が経営戦略の課題となっております。

一方で、箱根ガラスの森リゾート及びダイコク電機は、本施設を「フードエンタテインメント事業」「観光事業」として高く評価し、さらに当社が保有していない事業を有する多くのグループ会社を有していることから、当社では実現が困難だった本施設の今後の収益力向上に向けて、ダイコク電機グループによる力強い支援体制が整っております。

このような背景から、今般、対象事業を箱根ガラスの森リゾートに会社分割の方法で承継することで、他の事業（レストラン事業、物販事業）に注力し、収益力の向上を図ることができ、また、本施設や本施設で働くスタッフの未来にとって最良の選択を可能とし、本施設がこれからも多くの方々に愛され、さらに輝きを増していくと判断し、今回の決定に至りました。

2. 本吸収分割の要旨

(1) 本吸収分割の日程

吸収分割契約の承認に係る当社取締役会決議日	2025年8月7日
吸収分割契約の承認に係る箱根ガラスの森リゾート臨時株主総会決議日	2025年8月7日
吸収分割契約の締結日	2025年8月7日
吸収分割効力発生日	2025年10月1日(予定)

※本吸収分割は、分割会社である当社においては、会社法第784条第2項に規定する簡易吸収分割に該当するため、株主総会の承認を得ることなく行います。

(2) 本吸収分割の方式

当社を分割会社とし、箱根ガラスの森リゾートを承継会社とする簡易吸収分割です。

(3) 本吸収分割に係る割当ての内容

当社は、本吸収分割の対価として、箱根ガラスの森リゾートから金200百万円の交付を受ける予定です。

(4) 本吸収分割に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

(5) 本吸収分割により増減する資本金

本吸収分割に伴う当社の資本金の増減はありません。

(6) 承継会社が承継する権利義務

承継会社である箱根ガラスの森リゾートは、本吸収分割により、会社分割効力発生日における対象事業に関する資産、負債、契約上の地位、その他の権利義務について、吸収分割契約書に定めたものを承継します。

(7) 債務履行の見込み

本吸収分割において、当社及び承継会社である箱根ガラスの森リゾートが負担すべき債務履行の見込みについて問題ないものと判断しています。

3. 本吸収分割に係る割当ての内容の根拠等

(1) 割当ての内容の根拠及び理由

本吸収分割において、当社が受領する金銭につきましては、対象事業に係る資産・負債の状況、今後の収益性等を総合的に勘案し、当事者間で協議を重ねたうえで決定いたしました。

(2) 算定に関する事項

①算定機関の名称並びに上場会社及び相手会社との関係
当社は算定機関からの算定書を取得しておりません。

②算定の概要

該当事項はありません。

(3) 上場廃止となる見込み及びその事由

本吸収分割において、当社が上場廃止となる見込みはありません。

(4) 公正性を担保するための措置

該当事項はありません。

(5) 利益相反を回避するための措置

該当事項はありません。

4. 本吸収分割の当事会社の概要

	分割会社	承継会社				
(1) 名称	株式会社うかい	株式会社箱根ガラスの森リゾート				
(2) 所在地	東京都八王子市南浅川町3426番地	愛知県名古屋市中村区那古野一丁目43番5号				
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 紺野 俊也	代表取締役 谷口 幸雄				
(4) 事業内容	飲食店の経営、物販商品の製造販売等	不動産の賃貸及び管理等				
(5) 資本金	100百万円	65百万円				
(6) 設立年月日	1982年8月31日	2024年8月8日				
(7) 発行済株式数	5,616,940株	2,600株				
(8) 決算期	3月31日	3月31日				
(9) 従業員数	(単体) 658名 (2025年3月末時点)	(単体) 0名 (2025年7月末時点)				
(10) 主要取引先	一般顧客	株式会社うかい				
(11) 主要取引銀行	商工組合中央金庫、三井住友銀行、みずほ銀行、三菱UFJ銀行	三井住友銀行、みずほ銀行				
(12) 大株主及び持株比率	一般社団法人鶴飼家持株会 24.27%	ダイコク電機株式会社 100.00%				
	京王電鉄株式会社 13.71%	—				
	キッコーマン株式会社 8.89%	—				
(13) 当事会社間の関係						
資本関係	該当事項はありません。					
人的関係	該当事項はありません。					
取引関係	当社は、箱根ガラスの森リゾートから、賃貸借契約に基づき、本施設に係る不動産を賃借しております。					
関連当事者への該当状況	該当事項はありません。					
(14) 最近3年間の経営成績及び財政状態						
決算期	当社(単体)			箱根ガラスの森リゾート(単体)		
	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期
純資産	3,900	4,699	4,769	—	—	137
総資産	11,256	10,760	10,901	—	—	163
1株当たり純資産(円)	695.57	838.26	849.86	—	—	52,833.31
売上高	12,652	13,326	13,462	—	—	99
営業利益	763	890	721	—	—	11
経常利益	852	866	699	—	—	11
親会社株主に帰属する 当期純利益	—	—	—	—	—	7
1株当たり当期純利益(円)	163.82	155.23	24.41	—	—	2,833.31
1株当たり配当金(円)	15.00	17.00	15.00	—	—	—

(単位：百万円。特記しているものを除く。)

5. 分割する事業部門の概要

(1) 分割する部門の事業内容

本吸収分割により承継する事業は、当社の文化事業です。

(2) 分割する部門の経営成績 (2025年3月期)

売上高	1,090百万円
営業利益	94百万円

(3) 分割する資産、負債の項目及び帳簿価格

資産		負債	
流動資産	325百万円	流動負債	10百万円
固定資産	一百万円	固定負債	153百万円
合計	325百万円	合計	163百万円

(注) 以上は2025年3月31日現在を基準として算出しております。なお、実際に分割する資産及び負債の金額は、上記金額に効力発生日までの増減を加味した数値となります。

6. 本吸収分割後の状況

本吸収分割による当社及び箱根ガラスの森リゾートの名称、所在地、代表者の役職・氏名、事業内容、資本金及び決算期に変更はありません。なお、当社における本吸収分割後の純資産及び総資産の額は、効力発生日までの間に生じた増減を加除したうえで確定するため、現時点では未定です。

7. 会計処理の概要

本吸収分割は、「事業分離等に関する会計基準」及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」に基づき処理を行う予定です。

8. 今後の見通し

本吸収分割に伴い実際に承継される金額は、効力発生日までの間に生じた増減を加除したうえで確定するため、現時点での影響額は未定となっており、2026年3月期の業績予想(2025年5月19日発表)に本件による影響は織り込まれておりません。開示すべき事項が生じた際は速やかにお知らせいたします。

当社といたしましては、本吸収分割に伴い、祖業である「レストラン事業」及び成長事業である「物販事業」へ経営資源を集中させることにより企業価値の向上に努めてまいります。